



2025.5.2 第3号

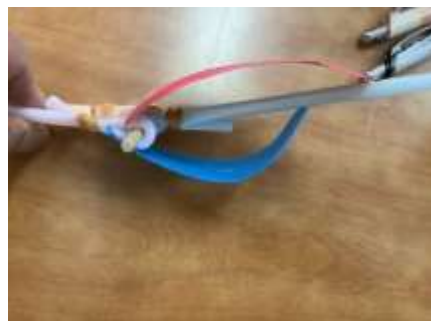
森田 博

4年「動物のからだのつくりと運動」

「あたたかくなると」

5年「天気の変化」

6年「物の燃え方と空気」



4年「動物のからだのつくりと運動」の学習では、ストローと割りばしでうでの骨と筋肉のつくりを再現した「ストローほねにくん」を作りました。腕の曲げ伸ばしの運動を行うとき、筋肉が伸びたり縮んだりする様子がよく分かる手づくり教材です。はじめに作ってから、常に手に持ったり、動かしたりしながら単元の終わりまで活用します。

筋肉の代わりに画用紙を使いますが、どこに貼り付ければ、上手く伸びたり縮んだりするかも考えさせています。そうすることで、曲げたときに内側の筋肉が膨らむことが自分で理解できます。



曲がるストローを輪ゴムで止め、割りばしを通します。曲げたときに内側（赤）が膨らみ、伸ばしたときに外側（青）が膨らむように画用紙をセロハンテープで止めます。

4月が終わりました。先週までの「あたたかくなると」の学習のまとめとふりかえりをしました。また、1年間育てて観察する「ヘチマ」の種をまき、昨日5月1日（木）に発芽を確認しました。芽が出たらその日に観察学習をすることがとても大事だと思っています。早速理科の授業がタイミングよくあります。みんなの反応が楽しみです。



こんな風に、南郷里小の運動場の周辺には、教科書に掲載されている草花がほぼ全て見つかります。モデルを示しながら、全員で写真を整理しロイロノートでふりかえりをしました。

カメラの視点がピッタリですごい！



給食センターの桜を1年かけて観察する子もいました。

天気の変化は、西からやってくる



●天気が変わるとき雲のようすを観ましょう。 (雲のようすと天気)	
観察する方位 北西	観察する日時 全 6校時 15時
雲の形と量 	雲の動き ゆっくり西から東へ動いていた。(幼稚園から校舎に向かって)
雲の量が 増えた 	天気 晴れ 雲の量:5
これからの天気予想 白い雲がうすく広がっているの、晴れが続く。	



●天気が変わるとき雲のようすを観ましょう。 (雲のようすと天気)	
観察する方位	観察する日時 全6校時 15時
	雲の動き ゆっくり西から東へ動いていた。
天気 晴れ 雲の量:5	これからの天気予想 白い雲が薄く広がっているの、晴れが続く

●天気が変わるとき雲のようすを観ましょう。 (雲のようすと天気)	
観察する方位 北西	観察する日時 全 6校時 15時
	雲の動き ゆっくり西から東へ動いていた。
天気 晴れ 雲の量:5	これからの天気予想 雲がうすい、雲の量が少ないのでこのまま晴れになると思います。

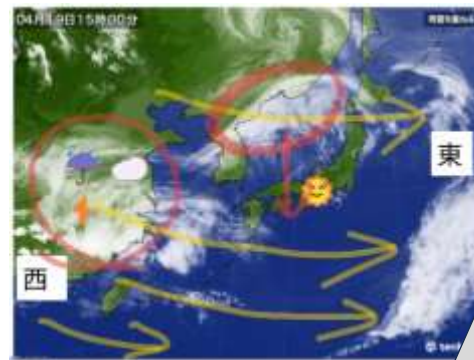
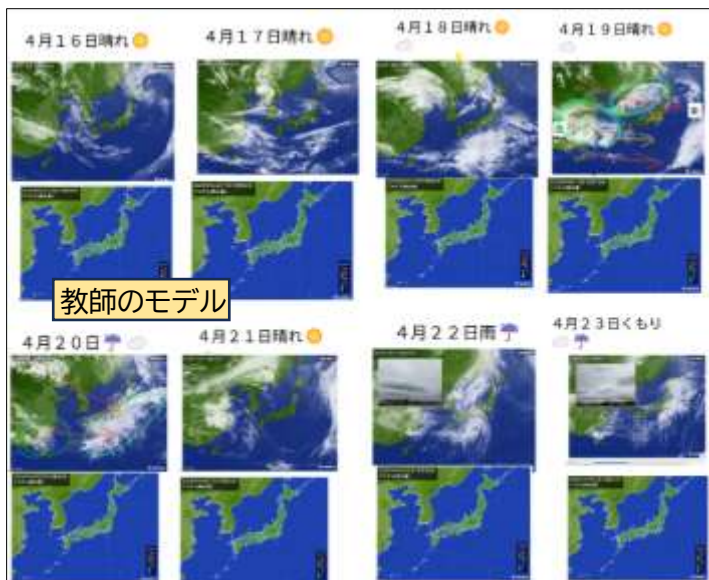
5年「天気の変化」の学習では、雲の観察を通して、天気の変化予想ができるようにしてきました。その日の天候に左右されるこの単元は、クラスによって、晴から曇りに変化する日の

●天気が変わるとき雲のようすを観ましょう。 (雲のようすと天気)	
観察する方位 北西	観察する日時 全6校時 15時
	雲の動き 分厚い雲がゆっくり動いていた。西からひがしへうごいていた。
天気 曇り 雲の量:10	これからの天気予想 雨が降りそう何故かとゆうと空全体的に曇り空なので、西に雲があるからです。でも雨が降る事はないかもしれません。

●天気が変わるとき雲のようすを観ましょう。 (雲のようすと天気)	
観察する方位 北西	観察する日時 全6校時 15時
	雲の動き 分厚い雲がゆっくり動いていた。西から東へ動いていた。
天気 曇り 雲の量:10	これからの天気予想 雨がふると思う。

観察がうまくできたり、ずっと快晴が続き、雲があまりない日もあったりと、いろいろ難しさがある学習でした。他のクラスの記録写真を用いながら、スプーンに写した空の様子も参考にしながら、西から東へ雲が動いていくことを、観察を通して知り、また、雲が動くように天気も西から変わっていくことを理解しました。

衛星の雲画像は、「日本気象協会」のサイト「tenki.jp」を活用し、ロイロノートに取り込みながら、学習を進めました。ここでも、教師のモデルを示し、そのように記録し、まとめていくとよいかを見通しをもたせながら、ゴールを明確にしながら学習を進めました。



菜の花の学習をした後日、たんぽぽの花を一つ一つに全て分けて押し花にしてきた子が、「5時間かった!」と言って見せてくれました。根気のいる作業です。本当にすごいと思いました。



物が燃える前と燃えた後の空気は、どう違う?～気体検知管で調べよう～

6年生「物の燃え方と空気」の学習がいよいよ大詰めを迎えました。初めて使う「気体検知管」に、戸惑いながらも、安全に、正確に実験に取り組むことができました。



まずはろうそくを燃やす前の空気には、酸素センサーで正しく測定でき「21%」と表示されました。本当に空気中には酸素が21%あることを実感できました。二酸化炭素は「0.04%」です。気体検知管（黄色）でもほんの少し紫色に変わりました。



その後、ろうそくを集気びんの中で燃やし、火が消えるまでフタをして待ちます。火が消えた集気びんの中を、酸素センサーでもう一度測定すると「11%」の表示。「あれ!?全部なくなってない!?!」この疑問を大切にして、最後のまとめの学習へ進みたいと思います。結果からの考察に、どんな考えが出てくるのでしょうか。楽しみです。二酸化炭素は、3%の目盛りまで紫色に変わっています。0.04%から3%に増えました。一体これらのことは、燃えることとどう

いう関係があるのでしょうか。



じゃがいもが発芽しました。袋栽培も順調に芽が出てきました。一安心です。また、ホウセンカの種もまきました。6月以降の実験観察をするために、4月から育てておかなくてはいけない教材の準備ですが、その日が来るのを待ち遠しく思いながら、大切に育てたいと思います。